

産業廃棄物処理業におけるトラックを起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	8～9	4トントラックに廃棄物コンテナを積み込むため、後輪に右足をのせてクレーン作業をしていたとき、飛散防止用の網を押さえていたゴムに片足が絡まり、それを取ろうとして右足がタイヤから滑り落ち、足を着いて転倒をし、骨折をした。	51	10 ～ 29
1	17～ 18	荷下ろし作業中、物を取るためトラックから降りようとしたら、あおりに足が引っ掛かり転倒し、あおりに腹部を強打した。	46	—
1	3～4	ごみの運搬回収のため、トラックで走行中に、中央よりやや右側を走行し、少しよそ見をした時に突出している柱に衝突し負傷した。	66	10 ～ 29
1	5～6	道路にてゴミを回収する為停車した際、後方から追い抜きをしようとした相手方4t車の左側面と自車右側面に追突された。	51	50 ～ 99
1	16～ 17	会社において、収集・運搬してきた荷降ろし作業中、トラック（2t平ボディー）荷台アオリのコンパネに足をのせて立ち位置を移動しようと振り返ったところ、積荷（フレコン袋）に身体がぶつかりバランスを崩した為、荷台から落下（約高さ1.8m）、その際コンクリートの地面に左足を強くつき、その際にスニーカータイプの安全靴を履いていたが、踵を骨折した。	46	10 ～ 29
1	15～ 16	敷地内にて、廃棄物をのせている10tトラックコンテナ車から廃棄物を降ろす為にあおりを開ける際、あおりを止めている固定ピンが固く、木の棒で固定ピンを下から叩き、そのピンを抜いた際に勢いよくあおりが開き、あおりの一部が左頬に直撃し、鼻から出血し、左頬骨を骨折した。	52	30 ～ 49

1	14～ 15	工場内での荷降ろし中、ウイング車の積荷（ダンボール）を荷台の上で引っ張り出そうとしたところ、ダンボールが破れたため体勢を崩しそのまま落下して、腰部他を強打した。	53	～ 99
1	8～9	解体後の鉄の捨て場にて、2tトラック後部のあおり（着脱可能）取り外し作業を行い、終了したのであおりを取り付けようとした際に手が滑り、あおりの角が右足の甲（安全靴を着用）に落下し、受傷したものである。	33	—
2	16～17	Fステージ脇ボックス片付け作業中、荷台で台木につまずいて、右足甲を骨折した。	24	50 ～ 99
2	15～16	回収先事業所で、段ボールの改修作業中にパッカー車巻き込み口にダンボールが挟まったため、押し込もうと手を差し出したところ、右手が挟まり、巻き込まれた。右手甲の皮がはがれ、3本の骨折をし腱の断裂となった。	42	—
2	11～12	当社工場内にて、2tクレーン車荷台から廃棄物を下ろす作業にて、手作業で荷台から廃棄物を下ろし終え、車体に右手を添えていた時に、同僚が気付かずにパワーゲートを閉めるスイッチを押してしまい、車体とパワーゲートに右手を挟まれ負傷しものである。	70	—
2	16～17	自社敷地内にて、自社トラックから降車する際、ひじ掛けに手をついて降りようとしたら右手中指の筋が断裂した。	48	—
2	10～11	当社内において、トラック（2tパネル車）荷台での廃棄物の荷降ろし作業中、高さ約1.2mの荷台から降りようとした。一旦、荷台に腰を下ろし、トラックのリアガードに足を掛けたが滑って転落し、右上腕部をコンクリート床面に打ちつけたものである。	52	30 ～ 49
3	11～12	敷地内でパッカー車でゴミ巻き込み作業中、回転板を止めないで左手でゴミを入れていて、左手が残っている状態で右手でゴミを拾い、気をとられているうちに左手が巻き込まれ、慌てて引っ張り出そうとした際、板に腕時計が引っかかり、左手の手の甲の皮がはがれ負傷した。	57	100 ～ 299
3	11～12	廃棄物収集中、トラックの荷台の廃棄物の整理をしていて、荷台から降りる際、体	56	1～

		勢を崩して下へ落下し、足を強く打ったため動けず救急搬送された。		9
3	13~14	運搬作業中、会社へ帰る際、トラックに積んだプラスチックの袋がずれていたため直そうとトラックのあおりに乗ったところ、誤ってバランスを崩し、地面へ足から落下した。	63	30 ～ 49
3	14~15	移動のため、収集車（4tトラック）を運転中、信号を北に抜けようと、最後尾にて信号待ちの停車をしていたところ、後ろから軽トラックに追突された。ブレーキ痕が無く、ほとんどノーブレーキといえるスピードで追突されたためか、衝撃で体が強く揺すられた。	41	30 ～ 49
3	16~17	産業廃棄現場において、ゴミ箱の4tフックロールの荷台に乗り写真撮影後、シートをかけようとして足を滑らせ地面に落ち、左足首を負傷する。	45	50 ～ 99
3	14~15	屋根のない構内で、客のトラックが産業廃棄物を荷下ろしするため、運転手がトラック上部の飛散防止のために覆っていたシートの巻き上げ作業を行っていた。しかし荷物が少なかった上に雨が降っていたこともあり、手こずっていたため、見かねた被災者がトラック上部に登り、作業を手伝おうとしたところ約3.5mの高さのトラック上部から足を滑らし、アスファルトの路面上に転落し負傷した。	44	30 ～ 49
3	9~10	回収先の事業場（広い場所）でパワーゲート付の4tトラックにて、産業廃棄物の回収作業を行っていた際、積込時に右手で荷を支え、左手でパワーゲートのスイッチを操作中、左手の親指がパワーゲートのレールの中に入っていた事に気付かず、パワーゲートを上昇させ、パワーゲートの支柱に左手親指が挟まってしまい、爪から先の部分を切断した（手袋着用）。不安全または有害な状態及び環境は無かった。スイッチには長いコードが付いており、柱に手を掛けて操作をする必要はない。	49	10 ～ 29
4	11~12	パッカー車で棚板をまきこむ時に、反動で棚板が跳ね返り、顎に接触し骨折した。	58	10 ～ 29
4	9~10	会社内のガレージで、トラックの上で製品の積み下ろし作業中、誤って荷台から転落し、右足の踵を負傷した。	67	1~ 9

4	15～ 16	得意先で車輛の荷台に乗り材料を積み込みしていた。荷台へ前から積み込みをしていたが、まだ後方にスペースがあると考え、後退した際に荷台から落ちて負傷した。（後方確認不足）	49	1～ 9
4	9～ 10	パッカー車の清掃作業中にパッカー車ゲート内に右手を入れたまま起動スイッチを入れてしまい、ドラムが廻り右手薬指を巻き込み負傷した。	47	10 ～ 29
4	11～ 12	車庫にトラックを駐車し10トントラックから降りる時、取手より手を滑らして落下し、腰を強打した。	64	1～ 9
4	14～ 15	工場へ空缶を運搬中、交差点で信号待ちの大型ダンプカーに追突し、軽トラック前方及び側面を損壊した。損壊したフロントガラス、ハンドル等で頭部顔面、胸部等強打した。	51	1～ 9
5	9～ 10	被災者は、当社駐車場において、アームロール車（4t）荷台にシート掛けをした車に付属の梯子を使って降りていた際、一段目に右足が引っ掛かってしまい、膝から地面に落下してしまった。（高さ50cm、ヘルメットあり）	19	1～ 9
5	8～9	当日荷主先（被災地）にて10tトラックに廃石膏ボードを積み込み、荷台上でシート掛けの作業中、荷台後方でシートを引っ張り荷台のふちに足をかけていたところ、雨で足が滑り落下し（約3.2m）、全身を強打負傷したものである。	40	10 ～ 29
5	17～ 18	残土搬出の業務中、残土捨場にて残土を降ろし、ダンプ後方の荷台の閉まり具合を見に行ったところ、荷台とアオリの間に小石が挟まっており、小石を外そうとして右手でアオリと荷台のロック受けをつかみ小石を外した時、同時にアオリが閉まり右手小指が挟まり骨折した。	52	50 ～ 99
5	12～ 13	事業場敷地内において、業務用トラックの洗車作業中に、濡れていた荷台から足を滑らせて地面に転落し、股関節を骨折した。	39	10 ～ 29
5	20～ 21	作業現場にトラックを停めるためトラックの後ろで後退を誘導中、縁石に接触する為に停止するよう声を発したが停止せず、トラックと縁石の間に左足を挟まれ、左足膝下を骨折した。	38	100 ～ 299

5	14～ 15	顧客先において6tパッカー車で廃棄物（廃プラロール）を回収中、投入した廃棄物がホッパー内から飛び出して来たため、それを制止しようと右手を出したところ、右手をロールと回転板に挟まれてしまい、痛みと焦りで動揺してしまい、緊急停止装置を使わずに咄嗟に右手を引き抜いてしまった。	32	10 ～ 29
5	9～ 10	駐車場でトラックの荷台から降りようとした時に足を滑らせ荷台から転落し、左手をついた。	67	1～ 9
5	13～ 14	荷下ろし先にて、大型車から木箱の荷物を下ろす作業中、木箱が後ろのアオリに引っ掛かってしまっていた為に、木箱を外そうと重機にて木箱を上げて、その間にアオリを開けようとした際にアオリが勢いよく開いてしまい、左手を挟んで薬指・小指・甲を強打した。	29	10 ～ 29
6	14～ 15	民家解体現場で、脱着式コンテナ庫に廃品を積み、飛散防止用シートを掛けようとコンテナ車の台座（50cm位）に上ったところ、雨が降っていたため足が滑り落下した。右足のつま先を地面に打ち、安全靴を履いていたため、右足指の基節骨を骨折した。	48	10 ～ 29
6	7～8	当社資源物処理センター内にて、回収してきたペットボトルをパッカー車から降ろす作業中、作業終了後にホッパー（後部扉）を閉じている途中で、ペットボトルが内部で引っ掛かっていたため一度停止させ、1人が荷台へ入ったが、ドライバー（開閉スイッチ担当）との意思疎通が上手くとれていなかったことによりホッパーが動き出し、体が挟まれて右脇腹を負傷してしまった。	42	—
6	16～ 17	トラックの荷台を片付けている時、雨が降っていて、荷台から降りる時に誤って足を踏み外し、足首を負傷した。	68	50 ～ 99
6	14～ 15	当社第一工場計量機付近で、廃品回収の雑誌などを降ろしている最中、トラックのコンテナからホイールローダーに移動している時、足を滑らせてホイールローダーのバケットの中に落下し、右手首がバケットの鉄角に接触して骨折した。	21	30 ～ 49
6	16～ 17	会社場内にて、10t車トラックに装備してあるグラップルのメンテナンス中に、雨上がりだったため足を滑らせ転倒してしまい、左手首から地面に落下し、骨折してしまった。	62	1～ 9

7	11~12	営業所へ当社、廃棄物中間処理場で使用する重機の修理点検が終了したため、回送車にて向かい、車に積み荷台上の重機より降りた際に機械の手摺につかまりそこないバランスを崩し、飛び降りてしまい負傷した。	67	30 ～ 49
7	10~11	清掃センター内で、荷おろし作業の際、中を確認したところ、まだ荷があったため、取ろうとしたところ、運転手が気付かず、テールゲートをおろしてしまい、挟まれ負傷した。	62	1～ 9
7	21~22	当社工場にて大型トラックへ木材を載せた際、後方扉より一部の木材が出ていたため、木材を荷台へ押し込むため扉から登り、作業後降りる時に過って手足を滑らせ、1m位の高さから落ち踵を負傷してしまった。	30	30 ～ 49
7	9~10	各ご家庭から出された可燃ごみ回収のため、ごみ収集車で巡回し回収作業をしていた。ごみステーションでごみ袋を収集車に投入していたところ、手袋が落ちてしまい、それを取ろうと右手を伸ばしたところ巻き込み板に手首を挟まれてしまい負傷した。	52	50 ～ 99
7	11~12	4tトラックに、荷物を積み終わって、シートをする時、左側後ろのあおりに乗って左から右に移動中、右足を滑らせて、転倒した。	33	30 ～ 49
7	13~14	5号車で収集業務中、信号の無い交差点で車と衝突し、首を痛めた。	45	30 ～ 49
7	11～ 12	自社敷地内置場にてヒアブを操作する為運転席に登る際、正しい順番で登らなければならない所を登らず誤って足をすべらせて落下した。トラックの鋭角な部分で右足を捉り12針縫った。	38	30 ～ 49
7	13～ 14	乗って来た大型車の運転席から地上へ降りた際に、いびつに着地したせいで左足首を捻挫した。	37	100 ～ 299
7	10～	車両から降りた際、足元の段差プレートに足を滑らせ転倒したところ、運転手が気	29	100 ～

	11	づかずに車両を前進したため、タイヤが助手の右足に乗り上げて負傷した。		299
7	15～ 16	中間処分場にてタンク車を洗車中、安全帯は装着していたが、フックを付け忘れて落下し、両側踵骨骨折、右腓骨骨折をした。	47	1～ 9
7	13～ 14	平ボディトラックにコンテナを積みもうとしたところ、側面アオリにコンテナが引っかかり積めないため、側面のアオリフックを外し、隙間を空けて積み込んだ（後部アオリと繋ぐフックは掛けていた）。作業が終わり、荷台から飛び降りようと足を側面アオリにかけたところ、フックが外れたままであったためアオリが傾き、バランスを崩して荷台から落下した。荷台から飛び降りようとしたこと、フックを掛けていないのにアオリに足をかけたことが発生の原因である。	47	100 ～ 299
7	14～ 15	トラックターミナル内で、廃棄物（木製パレット）を2tトラックへ積込中、荷台後方で木製パレットを移動して引きあげようとした際、足場が狭かったためバランスを崩し、2.0m位の高さから落下し、右足踵を骨折した。	48	30 ～ 49
7	9～ 10	工場にて、トラックにドラム缶を積み込もうとしているとき、右手でドラム缶を引きながら、左手でトラックの荷台の扉を開けようとした。右手ばかりを見ていて、左手に集中していなかったため、左手を金具に挟み込んでしまった。	35	1～ 9
7	10～ 11	インター店内駐車場にて、トラックの運転席から降りる際、着地に失敗して左足首を捻り、捻挫を負った。	30	30 ～ 49
7	12～ 13	当社作業場において、トラックの荷台から廃棄物の入ったフレコンバックをユンボでつかんで降ろす作業中、フレコンバックのフックをユンボに掛けようと荷台に上がっていたところ、誤って足を踏み外し、トラックの荷台より体の右側から落ち、右腕を受傷した。	65	1～ 9
7	9～ 10	被災者が、会社の場内において、重機（マグネット機械）を整備していた際、近くで同僚の従業員が散水車（4t）に水を入れていた。その際、散水車の停止場所が少し下り坂になっていたためか、水の重みで自然と車がバックをし始めた。同僚従業員は慌ててブレーキを踏んだが、エアブレーキのためか直ぐにはブレーキが効かず、被災者が重機と散水車の間に挟まれ負傷した。	59	10 ～ 29

7	8～9	ペットボトル置き場周辺を清掃中、場内で清掃車（4t）を運転手が移動させた際、右フロント後ろにあった歯止めを回収しておらず、右リアタイヤが歯止めを轢き、作業員の左膝・右膝・右肘の順番で接触し、打撲した。	56	50 ～ 99
7	11～ 12	場内でユニックの荷台からコンテナを下ろす作業中に、コンテナにフックを掛けて荷台から下りるとき、足が引っ掛かり落ちた。	65	10 ～ 29
9	16～ 17	被災者が、大型貨物自動車を運転し、国道を走行中、緩い右カーブにおいて、降雨により湿潤した路面にタイヤがスリップし、反対車線にはみ出しそうになり、左に急ハンドルを切ったところ、制御不能に陥り、そのままガードレールを破り、路外逸脱したものである。	30	1～ 9
9	12～ 13	当社中間処理場において収集した廃棄物を降ろす為にトラックから降りる際、右足がゴミの上に着地したので滑ってしまい、右足を外側へ挫いて骨折した。	33	50 ～ 99
9	16～ 17	現場でバッカン入れ替え作業中、ユニック車荷台へバッカンを設置し、ワイヤーロープのフックを外している時、手がすべり2mぐらいの高さから転落し、アウトリーガーの取手部分に尾てい骨を強打し地面におちた。	63	1～ 9
9	9～ 10	取引先で停車中にパワーゲートで荷物を積んで入れる作業をしていた、荷台が水に濡れていた為トラックのパワーゲート作業台より滑って左足をついてしまい、左かかとを骨折した。	55	1～ 9
10	15～ 16	建設業者の倉庫で、当社貸付用鉄製カゴの交換回収業務のため、ユニック付8tトラックを市道に駐車し、ごみの入ったカゴをユニックで荷台に下し、留め具を外そうと荷台あおり上部に上がり、左手でカゴ嵩上げに使用されていた板を掴んだところ、突然板がカゴの境目で折れ転落し、肋骨第3～5、3本骨折、全身打撲、擦過傷等負傷した。転落状況はあおり（90cm）から一旦荷台中央のあおり鉄製支柱に臀部から落下、そのまま脇の下付近（右肋骨）を強打し、荷台下の地面（荷台高さ1m）に後ろ向きのまま頭部から落ち全身を強く打ったもの。なお作業中はヘルメットを着用していたため頭部の異常は認められなかった。	45	10 ～ 29
		建設現場の廃棄物を自社のトラックの荷台に積み込んで、開いている状態の荷台の		

10	9～ 10	扉に引っかかっている木材を荷台に押し込んでいたところ、扉が閉まって頭部が挟まれた。ドアキャッチは取り付けていたが、扉の位置の固定が不十分だった。	67	1～ 9
11	10～ 11	ゴミカゴの産廃回収のため荷台（4tトラック）から降りる時、雨も降っていたため、滑り易くなっているところに、足を滑らせて落下し、柵の所に股間を強打した。そのまま、救急車で病院に運ばれ、入院することとなった。その後、尿道に管を通したまま退院したが、自宅療養で通院し、後日、経過を見て管を外す手術をする予定である。	40	30 ～ 49
11	16～ 17	工場廃棄物置場にて、回収してきた廃タイヤをトラック荷台から転がして下ろす作業中に、下ろすタイヤと一緒に荷台から落下してしまった。その際、頭部は手についてかばい無傷だったが、左足を捻ってしまい靱帯を損傷した。当日は様子を見ていたが翌日腫れたため日曜の休日診療を受診した。当番医が外科で専門外だったため改めて翌日整形外科を受診した。	26	1～ 9
11	15～ 16	トラック積荷の荷卸し中、荷台上でフォークリフトオペレーターの誘導を行っていた。トラック左側より荷卸しをしており、荷台右側に積載してある製品を左側より取り卸し出来るよう左側へずらそうとした。製品金枠の下部を両手で掴み引っ張ろうとしたが、掴み損ねてしまい、勢い余って2～3歩後ずさり、左足をつこうとしたところ荷台を踏み外し、転がるように落下した。その際に左手の平をついた為、左橈骨が骨折し、その後肘をついた為、打撲した。	71	10 ～ 29
11	9～ 10	車載コンテナを車に吊り上げる前に、コンテナの上にあがりネットを広げてかぶせ、降りる際に足を踏み外して落ち、膝をぶつけて負傷した。	37	10 ～ 29
11	12～ 13	会社内で、2トントラックの上に乗って鉄を降ろしていた際に滑り落ち、地面に手をついたため左手首を痛めた。	36	1～ 9
11	11～ 12	産業廃棄物の収集に向かう途中、高速道路が渋滞していて、停止中に後から追突された。	38	50 ～ 99
		お客様構内にて、パッカー車でゴミ回収をしている際、雪で足が滑り、転びそうに		30

12	15~16	なって、反射的に手をついた所がゴミの投入口で、巻き込み板に挟まれてしまい、左手を負傷した。	52	～ 49
12	11~12	B3Fにおいて、パッカー車に廃棄用段ボールを積み込み作業中、誤って手で段ボールを押し込んだところ、作業手袋が段ボールと段ボールの間にはさまれ負傷した。	50	10 ～ 29
12	12~13	工場焼却炉近くの集積場において、収集してきた建築廃材の荷降ろし作業中、荷台（コンテナ）に上がり移動していたところ、麻袋の紐に左足が引っ掛かったためバランスを崩し、体勢を捻りながら荷台より落下した。その際に左足を荷台の縁にぶつけ、脛脛付近に切傷、および強く捻って足の付け根から尻に打撲を負い、あわせて両腕を強くつき両肩を負傷した。	35	50 ～ 99
12	3~4	三方が壁に囲まれている場所に、入口が車両前方の状態です。荷台シートの前部分をたたみ、後ろ部分をたたもうとして入口を背に向けて作業していたところ、突風が入口から吹き、シートとともに約3mの高さから落下し負傷した。	62	50 ～ 99
12	14~15	産廃の荷卸しの作業中、平ボディの荷台から、後ろ向きで落下し、腰を打ち、骨盤骨折を負った。	50	1～ 9
12	13~14	走行中、突然、軽トラックが飛び出してきて、弊社の塵芥車へ激突してきた。その反動で左側のガードパイプへ接触し、そのまま車ごと崖下へ転落した。	35	30 ～ 49
12	11~12	吸引車のホース取り替え作業中に、同僚がホースの巻き取りを行っていたところ、右足がホースに挟まり負傷した。	44	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html